# ようこそ京都新聞社へ

## テュービンゲン大学同志社日本語センターの皆さん来訪

テュービンゲン大学同志社日本語センターの皆さんが、15日午後、京都新聞社を訪れました。

一行は記念撮影の後、編集局や輪転工場など、新聞づくりの現場を熱心に見て回りました。

## 新聞ができるまでを学ぶ

見学者ルームにて「京都新聞ができるまで」のビデオで取材や編集のポイント、印刷された新聞が販売所から各家庭に届けられるまでの様子を観賞した後、高速オフセット輪転機、自動化された発送設備や編集局などの各現場を見学。執筆・送稿から印刷、発送までコンピューター化が進んでいる現状や最新の電子編集システムなどについての理解を深めました。また京都新聞の発行部数や従業員数、支社・支局数、販売所数などの説明も受けました。資料展示コーナーでは、有名作家からファクスで送られてきた直筆の原稿や、鉛の活字を入れたゲラ、新聞配達で使ったチリンチリン（鈴）やハッピなどを見学し、時代の流れを知ることもできました。

## 読者とともに歩む

### さまざまな情報を発信

京都新聞はことし創刊百三十年を迎えました。戦争中の一時期を除き、明治、大正、昭和、平成の時代を京都・滋賀の読者とともに歩んできました。

京都は千二百年をこえる歴史と伝統を誇り、学術・文化、観光の中心地としても世界の注目を集めるまちです。本紙は、その京都を発行拠点にしており、グローバルな視野をもとに紙面づくりを行う一方、地方紙として地域の生活に密着したキメ細かなニュースも拾い上げています。

新聞製作は時代とともに大きく変わってきました。鉛活字を手で拾って版をつくり、印刷していた時代から、コンピューターを使って新聞を編集するシステムに移るなど、正確で美しい新聞をより速くつくれる時代になりました。

ニュース原稿も、記者が手書きしていたものが今や離れた場所からパソコンに入力し、通信回線を経て本社の端末に送信されるようになりました。

京都新聞社は、新聞発行以外にもスポーツ・文化・芸術などのイベントに取り組んでいます。

スポーツイベントでは、女子陸上界に大きく貢献している都道府県対抗女子駅伝競走大会、少年野球、少年サッカーなど。また、数々の展覧会やコンサートも催しています。

さらに毎秋、各分野で功績のあった方々を表彰する「京都新聞大賞」は、すっかり定着しましたし、福祉の分野でも奨励金を出したり、表彰を行っています。

マルチメディア時代に対応して、京都新聞社はさまざまな形で情報を発信しています。KBS京都やFM京都、みやびじょんなどの放送局、街かどの「電光ニュース」にも、京都新聞のニュースが流れています。

また、グルメから歴史まで、幅広い内容の出版物を発行しており、京都という地の利を生かし、全国にファンを広げています。

インターネットにもホームページを開設し、京都や滋賀の情報を発信、国内だけでなく国外からも、たくさんのアクセスがあります。

京都新聞

発行所　〒604－8577
京都市中京区烏丸通夷川上ル
京都新聞社
The Kyoto Shimbun Co.,Ltd.
http://www.kyoto-np.co.jp/
(075) 241-5430
(075) 241-5421
京都新聞トマト倶楽部

### 新聞豆知識

発行部数 … 朝刊約51万部
夕刊約32万部
計　約83万部

本社で働く人の数は
…約630人

支局で働く人の数は
…約120人

販売所数……244カ所
（京都府185、滋賀県59）

新聞を印刷する用紙
長　さ…約12km
重　さ…約855kg
使用量…1日約120本

輪転機の印刷能力
…1時間に約13万部

▼Hello! Do you have any news? 英語のあいさつ表現のひとつです。久しぶりに合った友人同士が、「やあ、変わりはないかい（直訳すれば、何かニュースはありますか）」と交わす言葉です。そうです、ニュース（NEWS）の原点は、私たちの身の周りでの変化なのです▼本日は、京都新聞社の見学に足を運んでいただき、ありがとうございました。短い時間でしたが、毎日の新鮮なニュースをみなさんにお届けする仕組みをご理解いただけましたか▼もっと騒々しい新聞づくりの現場を想像されていたのではありませんか。締め切り時間をにらみながらの人海戦術、かつてはそんな新聞製作でした▼新聞づくりを変えたのは、確かにコンピューターの力です。作業は高速化され、より新しいニュースを皆さんの家庭に届けることを可能にしました。しかし、今も変わらないのは、京都新聞が京都と滋賀という地域に根ざし、住民の視点でさまざまな問題を見つめ続け、読者とともに考える姿勢です▼人々の「活字離れ」が指摘されます。本を読まない、新聞を読まない。特に、若い世代の文字離れは深刻です。私たちは残念で仕方ありません▼朝夕に家庭にお届けする新聞は、記事も広告も、すべて私たちが皆さんに伝えたい最新の情報です。世界のこと、日本のこと、文化、芸術、科学、スポーツ…。その日のとっておきの話題を詰め込んでいるのです▼文字を読むことから、考えることが始まります。新聞の片すみに、世界の変化の第一歩が見つかります。さあ、私たちと一緒に、ニュースを探し出す旅に出かけましょう。

NEWS